

九州の秘境・ロマンティック街道

九州の代表的な国立公園の一つは、言うまでもなく阿蘇霧島国立公園です。阿蘇と霧島を結ぶ道路は国道265号で、阿蘇より、椎葉村、西米良村、須木村等を経て小林市に至ります。少しわき道に入れば、高千穂神楽、五木の子守唄、椎葉の稗つき節、刈干きり歌など、九州屈指の伝統を受け継ぐ一帯があります。日本版ロマンティック街道です。また、上椎葉ダム、綾南ダムなどの水資源、治水の根幹施設もあります。さらに、綾町の照葉樹林など自然環境に恵まれています。また、日本の国蝶であるオオムラサキの南限は北緯32度で、小林市域の北側に位置します。

この提案は、265号沿線を中心として、観光資源の掘り起こしと、訪問客に、九州の再発見を促し、浩然の気を養っていただくとするものです。

1. 沿線町村・連携の場の設置
2. 道路の改良（天下の悪路ですが、なんとか猪に遭わず通れます。）
3. 道の駅の機能を持つ施設の整備
4. 歴史・伝統文化・景勝地の顕彰（滝、樹林、動植物 etc.）
5. 語り部の育成、旅人と地元の交流機会の提供

このような視点から、街道を見直すことによって、「都会ばかりが日本じゃない」といった日本人らしい感性を高めていくことができようかと思っています。

